

エコチル調査の進展を踏まえた実地調査と評価について（案）

1. 背景

現在、環境省、コアセンター、メディカルサポートセンター及び、ユニットセンターの自己点検、環境省の実地調査（毎年、10月から11月頃に実施）等の情報に基づき、評価ワーキンググループにおいて、全体調査及び詳細調査の実施状況や参加率維持のための取組、個人情報の管理状況等に関して評価書（案）を作成している。

今後、学術論文の発表や国民に対する情報発信など、調査成果の社会還元をより一層推進する時期を迎えるため、エコチル調査の評価を行う上では、これらの取組について、より専門的な情報収集が重要となる。

2. 対応方針

- 評価ワーキンググループを拡充した上で、従来の取組に加えて、調査成果の社会還元の取組を含めて関係機関から直接情報収集する機会を設ける。
- 実地調査については、年間を通じて実施することとし、個人情報の管理状況等の情報収集や確認を行う。

3. 進め方

- 評価の視点や具体的な評価の実施方法については、評価ワーキンググループ（5月から8月頃開催予定）にて決定し、次回の企画評価委員会（9月頃開催予定）に報告する。

<留意事項>

情報収集の機会や実地調査の時期については、各ユニットセンターの過度な負担や不公平とならないように配慮する。

また、社会還元を推進する時期においても、参加率を高い水準で維持することは、引き続き重要課題の一つであるとともに、ユニットセンターの人員体制等は大きく異なるため、評価の視点や具体的な評価方法については、これら事情に十分に配慮したものとする。

エコチル調査評価ワーキンググループ委員名簿

氏名	所属
有村 俊秀	早稲田大学 政治経済学術院 教授
井口 泰泉	公立大学法人 横浜市立大学 特任教授
田中 政信	公益社団法人 日本産婦人科医会 名誉会員
麦島 秀雄	公益社団法人 日本小児科学会
村田 勝敬	国立大学法人 秋田大学大学院医学系研究科 環境保健学講座 教授
内山 巖雄 (オブザーバー)	国立大学法人 京都大学 名誉教授

平成 31（2019）年度年次評価実施スケジュール及び実施フロー
（イメージ）

